

桂浜公園整備基本構想



平成 27 年 4 月
高 知 市

<目 次>

1. 策定の目的・対象範囲	1
1-1 策定の目的	1
1-2 対象範囲	1
2. 桂浜公園の現況把握及び課題抽出	2
2-1 桂浜公園の状況	2
2-2 土地利用等の法令上の位置づけ	4
2-3 植栽・緑化・景観・園路・施設の現況	5
2-4 アンケート調査	7
2-5 桂浜公園の主な課題	9
3. 基本理念及び整備方針	11
3-1 基本的考え方	11
3-2 整備方針	12
3-3 ゾーンエリアについて	13
4. 基本構想について	14
4-1 全体施設配置構想	14
4-2 動線	17
4-3 各エリアの整備構想	23
4-4 植栽管理	30
4-5 サイン整備	31
5. 事業手法の検討	32
5-1 前提となる基本的考え	32
5-2 想定される事業スキーム	32
6. 公園整備のスケジュール	34

<参考資料>

1 アンケート・ヒアリング調査	36
2-1 来訪者アンケート	36
2-2 市民アンケート調査（WEB アンケート）	50
2-3 事業者アンケート調査	60
2 桂浜公園整備検討委員会委員名簿	68
3 桂浜公園整備検討委員会の開催概要	69
4 高知市桂浜公園整備検討委員会設置要綱	70

1. 策定の目的・対象範囲

1-1 策定の目的

本市の都市公園である桂浜公園は、浜辺とそれを囲む青松が美しい景勝地であり、全国的に有名な坂本龍馬の銅像が雄大な太平洋を眺望する本市の代表的な観光地として多くの観光客が訪れています。

しかし、昭和 50 年代にハード整備が行われた有料駐車場やみやげ品店の並ぶサービスエリア地区、また桂浜水族館や休憩所等は、整備から 30 年余りが経過し、施設の老朽化や多様化する観光客のニーズに対応できていない状況が見られるようになってきており、桂浜公園の魅力向上に向けて再整備が必要となっています。

本構想は、高知市桂浜公園整備検討委員会での検討を、桂浜公園の再整備を進めていくための整備基本構想としてまとめるものです。

今後、本構想をもとに具体的な整備に向けた検討を基本計画等で行っていくものとします。

1-2 対象範囲

対象範囲は下記の通りです。

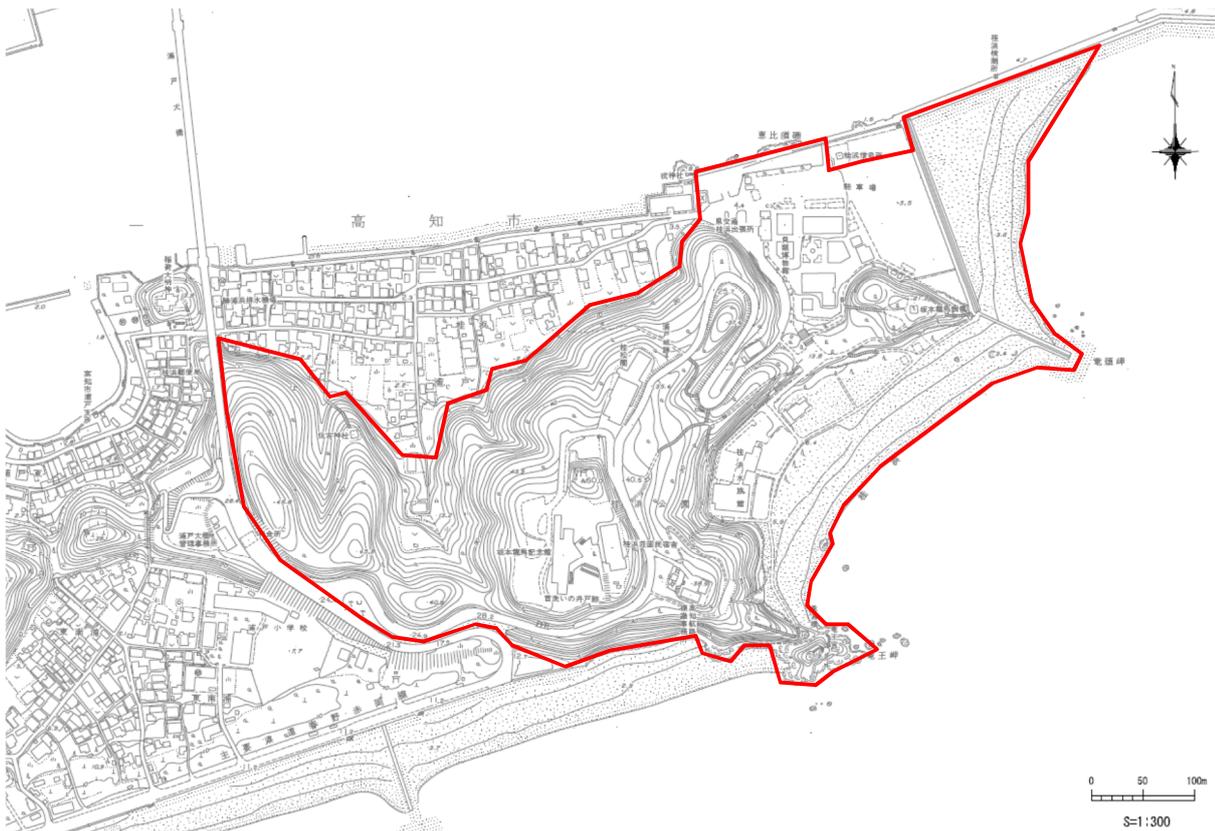


図 1.1 対象範囲図

2. 桂浜公園の現況把握及び課題抽出

2-1 桂浜公園の状況

2-1-1 桂浜の位置, 概要

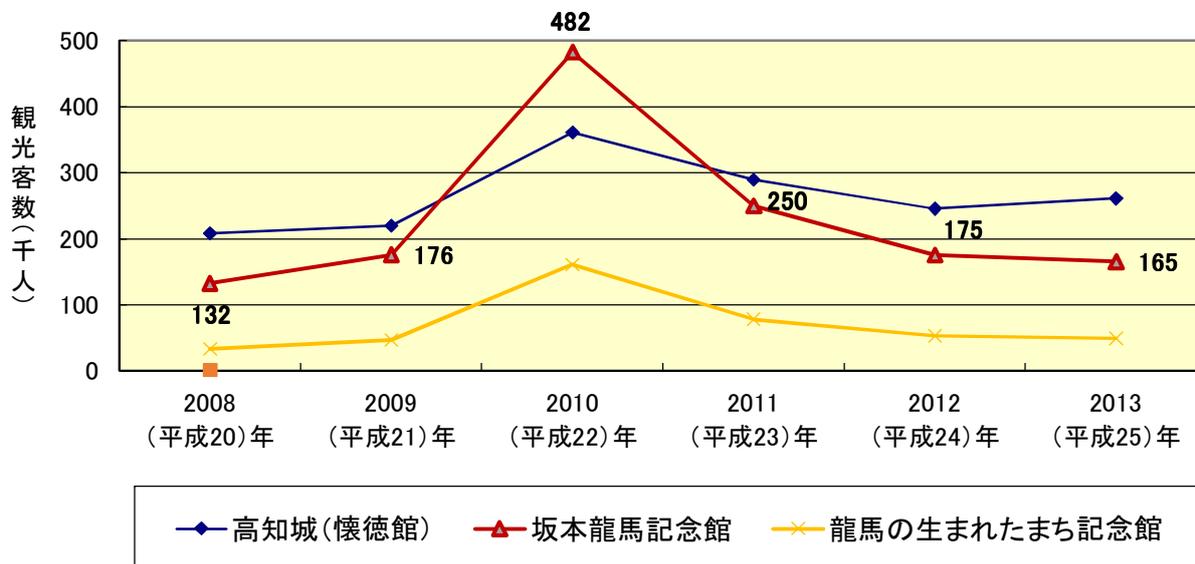
- 高知市浦戸に位置し、月の名所としても名高い雄大な太平洋に面した景勝地
- 太平洋を臨んで建つ坂本龍馬像や高知県立坂本龍馬記念館が有名
- 丘陵部の城山は長宗我部元親の居城であった浦戸城跡
- 公園へのアクセスは、高知自動車道高知 I C、高知龍馬空港、J R 高知駅から車で約 30 分の距離で高知市内中心部からはバスが運行



図 2.1 桂浜公園の位置・交通網図

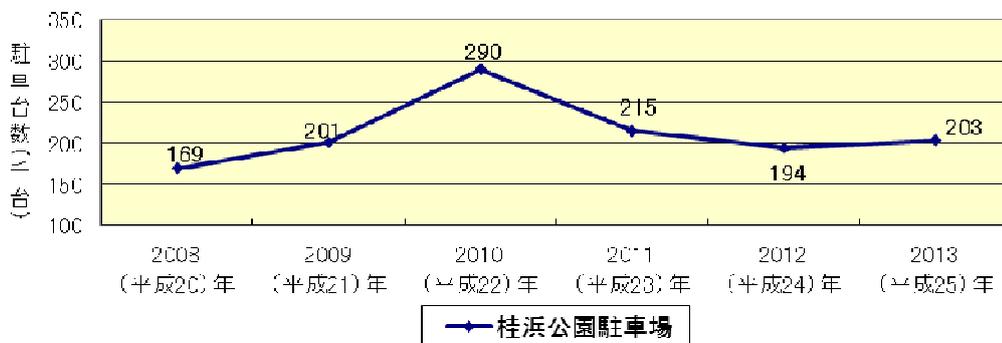
2-1-2 桂浜公園の観光動向

- 2010（平成22）年は大河ドラマ「龍馬伝」の効果により高知城、坂本龍馬記念館、龍馬の生まれたまち記念館の観光客数が大幅に増加



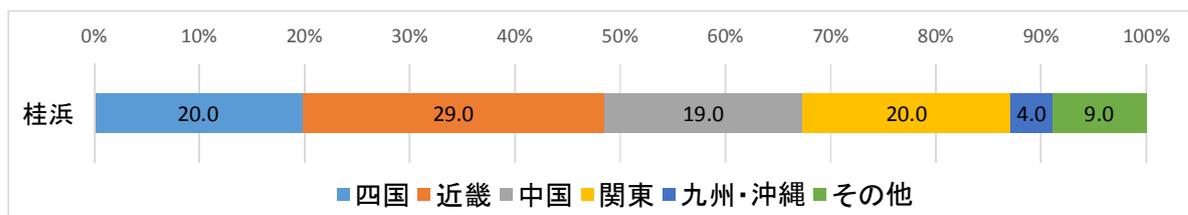
出典：平成25年県外観光客入込・動態調査報告書（高知県）

図 2.2 高知市主要観光施設の観光客数の推移



出典：平成25年県外観光客入込・動態調査報告書（高知県）

図 2.3 桂浜公園駐車場の駐車台数の推移



出典：平成25年県外観光客入込・動態調査報告書（高知県）

図 2.4 桂浜公園を来訪した人の地域別観光客数の割合 2013(平成25)年

2-2 土地利用等の法令上の位置づけ

桂浜公園は、都市計画法によって都市公園の特殊公園に位置づけられています。
 また、桂浜公園の一部は下図のように保安林、地域森林計画対象民有林に指定されています。

表 2.1 桂浜公園の概況

公園開設	昭和 26 年 3 月 20 日
都市計画決定	昭和 46 年 10 月 8 日
面積（高知市管理分）	22.5ha
種 別	都市公園法によって規定される都市公園の中でも特殊公園，うち風致公園として指定

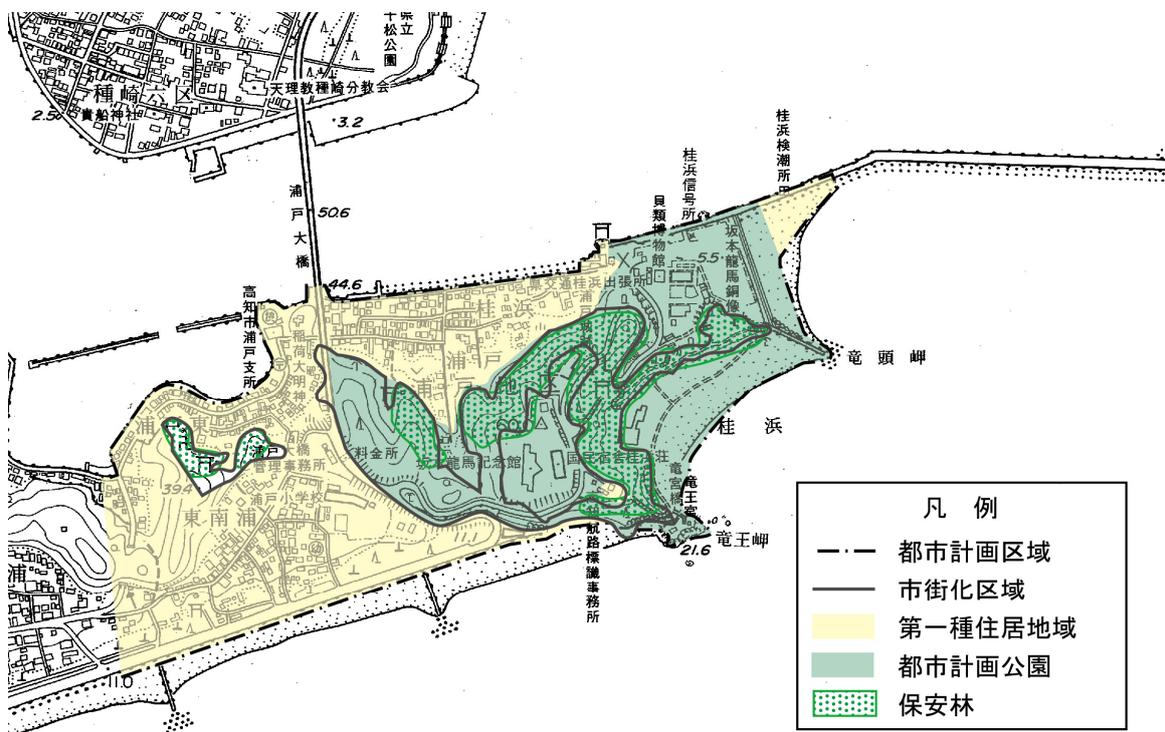


図 2.5 桂浜公園の法令上の位置づけ

2-3 植栽・緑化・景観・園路・施設の現況

2-3-1 植栽・緑化・景観の現況

桂浜公園の植栽・緑化・景観の現況は以下のとおりです

【公園全体】

- 桂浜公園内には数多く歴史的な記念碑等がある。
- 周辺の海浜景観を楽しめる眺望ポイントが多い。
- 浜側の岩肌には特徴的な海浜植生が広がる。
- 林内にはクロマツ等の大径木も存在する。
- 平地は津波浸水エリアであり避難路がある。

【高浜虚子句碑】

“海底に珊瑚花咲く鯨を釣る”
高浜虚子が昭和24年10月俳誌
「龍巻」200号記念大会に来高した
時の句である。



【旧アスレチック広場からの眺望】



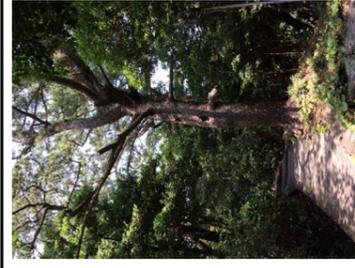
【浦戸城天守跡】

高知市指定史跡。天守跡は詰ノ段
よりも7m高く、いびつな台形をし
ている。上部の南北の幅は15m、東
西の幅は11m。



【植生①】

樹齢100年を
超えるクロマツに
加えてスダジイや
タブノキ等の大径
木を含む豊かな海
岸林がベルト状に
見られる。



【桂浜学園石碑】

昭和初年、桂浜の山一
帯は高知市出身の教育
者・川田鐵彌氏の所有で
あったようで、この城山
全体が歴史的にも学びべき
的・植物的にも学ぶべき
点が多いと考え“桂浜学
園”という名称をつけた。



凡例



★ 歴史的資源

眺望ポイント

避難路

【龍馬像展望広場からの眺望】



【竜頭岬からの眺望】



【植生③】

面積的には狭いものの、ハマヒル
ガオ等の海浜特有の植生がパッチ状
に点在する。



【竜王岬からの眺望】



【植生②】

海岸の崖地や礫地に
は、ハマナデシコやタイ
トゴメ、ハマボツス、ツ
ワブキ等の海岸に特徴
的な植物が見られる。



【桂浜荘からの眺望】



【展望台からの眺望】



図 2.6 桂浜公園の植栽・緑化・景観現況図

2-3-2 園路・施設の現況

桂浜公園の園路や施設の現況は以下のとおりです。

【公園全体】

- 桂浜は高知の観光名所として多くの観光客が訪れる場所であり、行楽シーズンには県内、県外から多くの来訪者でにぎわう。
- 自然・海浜景観エリア、エントランスエリア、龍馬を学ぶエリア、自然・歴史散策エリア、コミュニティ連携エリアの機能的・空間的な繋がりが不足している。

【周辺市街地】

周辺の市民が桂浜公園に行ったり、公園を活用したり、連携した取り組みを行うなどの繋がりが少ない状況。



周辺住宅地の様子

【散歩道】

散歩道は樹木が繁茂しており、見通し、風通しが悪く園路が滑りやすい状況。また未舗装の動線上には根上がりなどによりつまずく危険性もある。



林内の滑りやすい乱石舗装



散歩道未舗装地内の根上がり

【エントランス周辺】

昭和50年代に建設されて30年あまりが経過し建物が老朽化している。土産品売店・飲食店等の休店や長期にわたって営業していない店舗や露店がある。食事や買い物を楽しむ魅力・景観が不足している。



ゲート周辺

土産品売店・飲食店等

自然・海浜景観エリアは地形や樹木により外部から視認できない。

【駐車場】

東浜に面した駐車場からは、フェンスやコンクリート堤防によって海は見えない。駐車場から海岸・海浜沿いに繋がる動線がない。



エントランス・駐車場の状況
※駐車場料金：バス：800円/回、小型・軽：400円/回、自動二輪：50円/回

【龍馬像展望広場】

龍馬像は、桂浜を代表するスポットとして認知度は上がっている。



展望広場龍馬像

【休憩施設】

家族連れでくつろげる空間・雰囲気は乏しい。



海浜に面した休憩施設

【桂浜水族館】

桂浜の自然海浜（砂浜）の景勝地景観と水族館の建物景観がそぐわないという意見もある。



海浜に面した桂浜水族館

【竜王岬展望台】

平成5年～7年に修景整備を行い、約20年が経過している。擬岩の着色や安全柵の塗装剥げ、錆等が進行。



老朽化の進む安全柵

自然・海浜景観エリアは地形や樹木により外部から視認できない。

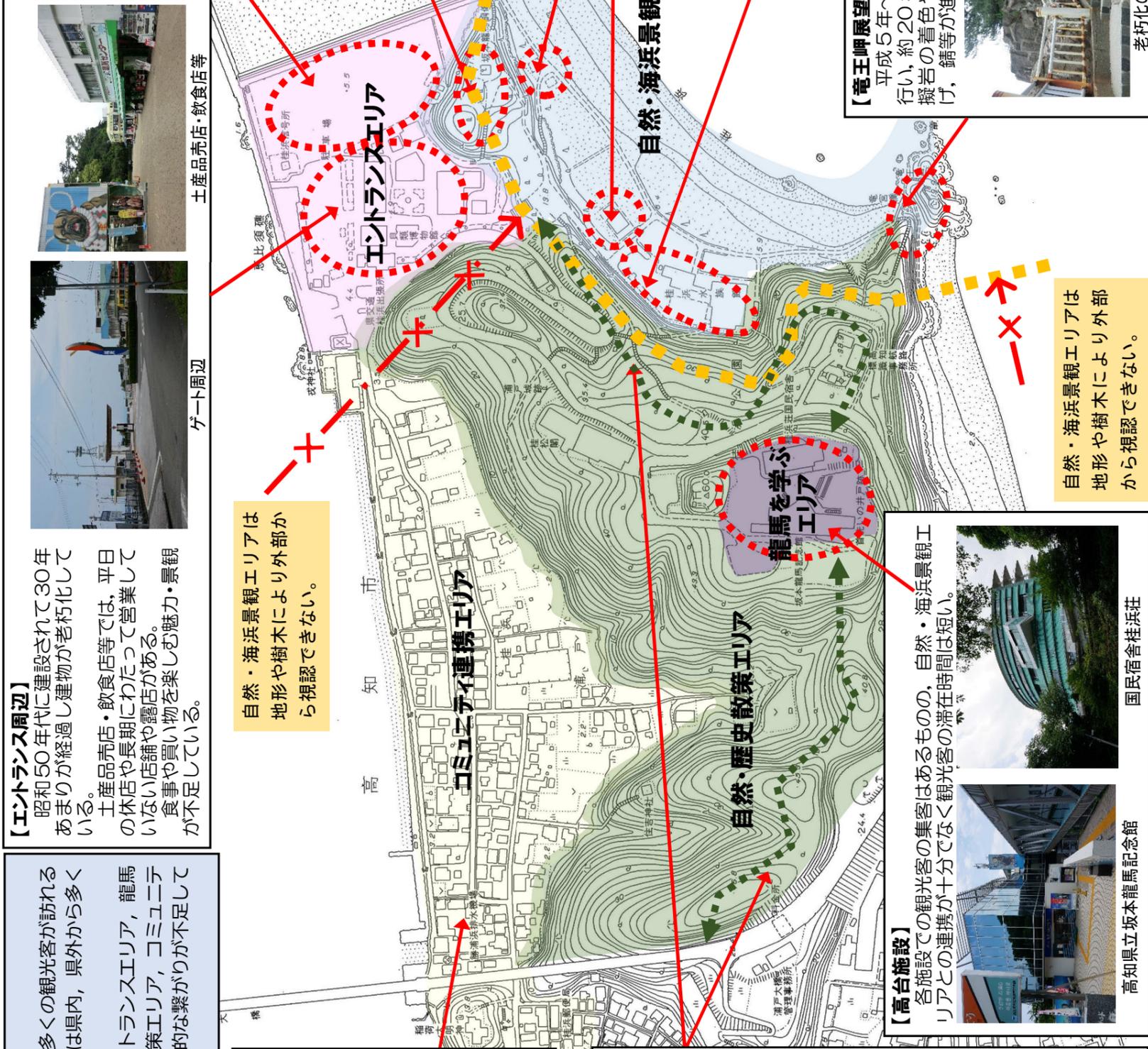


図 2.7 桂浜公園の園路・施設現況図

2-4 アンケート調査

桂浜公園の現状の評価について市民、本公園への来訪者や近畿圏など高知県外の方、事業者に対しニーズや今後の公園整備のあり方を検討することを目的にアンケート調査を実施しました。

1) アンケート調査の概要

(1) 桂浜公園来訪者アンケート及び近畿圏在住者アンケート

本公園への来訪者や近畿圏など高知県外の方を対象に、桂浜公園来訪者 210 名、近畿圏（大阪市内）の方 103 名に実施。

(2) 市民Webアンケート

本公園へ行ったことがある方の顕在ニーズと行ったことがない方の潜在ニーズを比較分析しながら、WEB 調査会社のモニターで高知市在住の方 896 名に実施。

(3) 事業者アンケート

高知市観光協会の会員等、及び県外からの観光客、観光ツアーなどを運営している観光バス会社の計 51 事業者に実施。

2) 魅力ある桂浜公園となるために必要なこと

来訪者、市民とも「2. 海や浜などの景観の向上」、「5. 食事が楽しめる特色ある飲食店の充実」、「1. 坂本龍馬などの歴史的資源を活かすこと」、「3. ゆっくり休憩できるスペースの整備」が多く、市民では「6. 桂浜水族館の充実」も多くなっています。

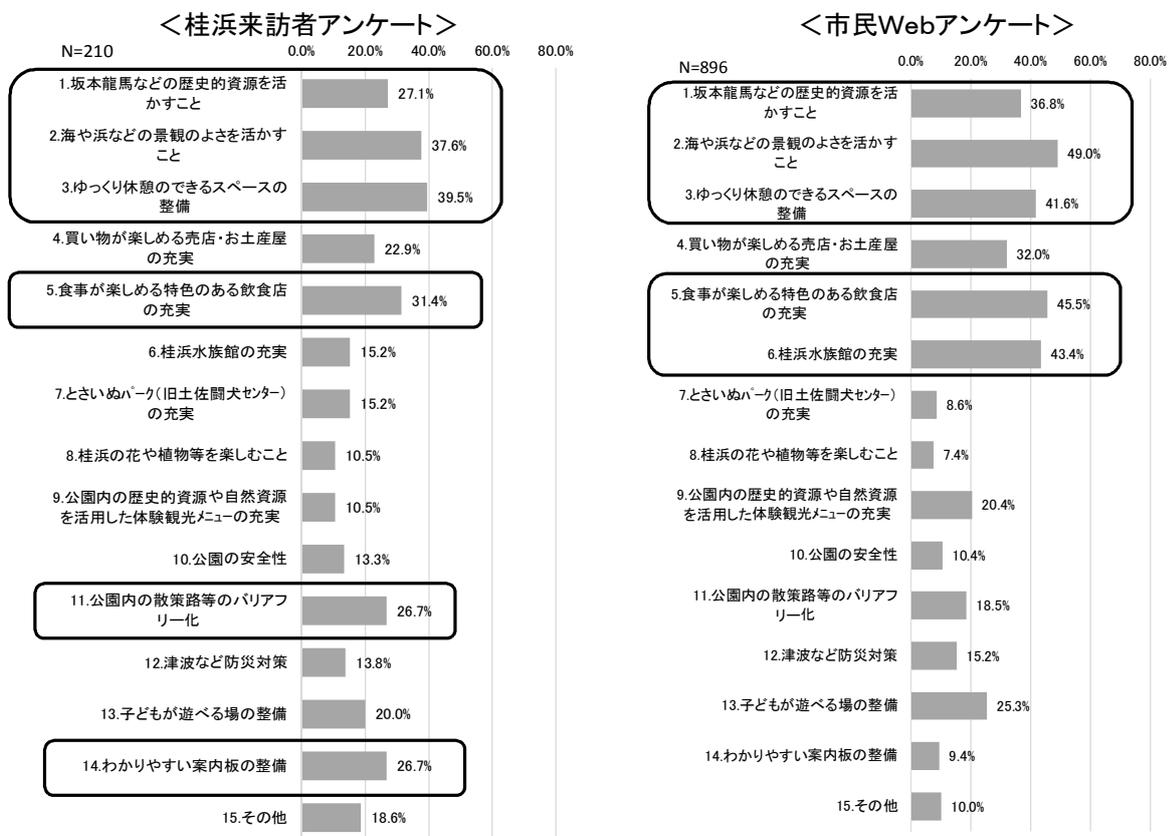
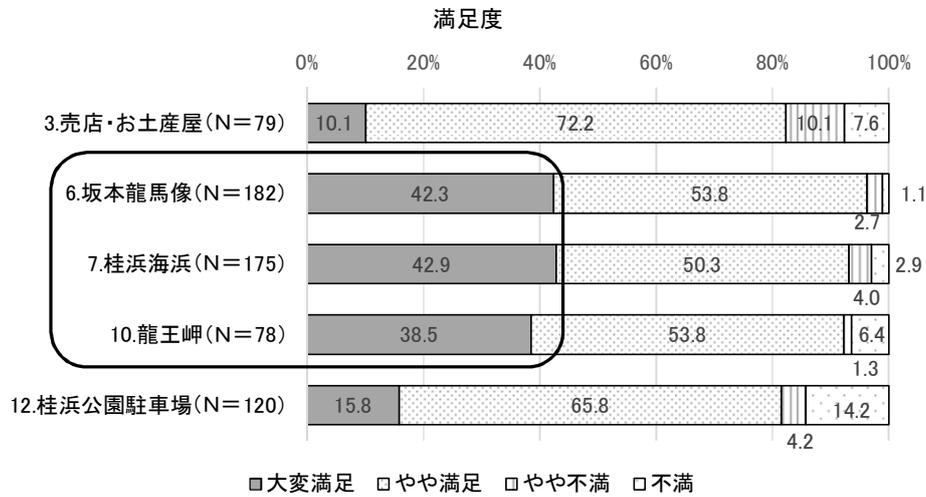


図 2.8 魅力ある桂浜公園となるために必要なこと

3) 桂浜公園内施設の期待度・満足度

各アンケートに共通して期待度・満足度が高いものは「6. 坂本龍馬像」「7. 桂浜海浜」、期待度・満足度が低いものは「3. 売店・お土産物屋」「4. 飲食店」となっています。

<桂浜来訪者アンケート>



※210人のうち1/3の63人以上が利用した施設のみの期待度・満足度を抽出

<市民Webアンケート>

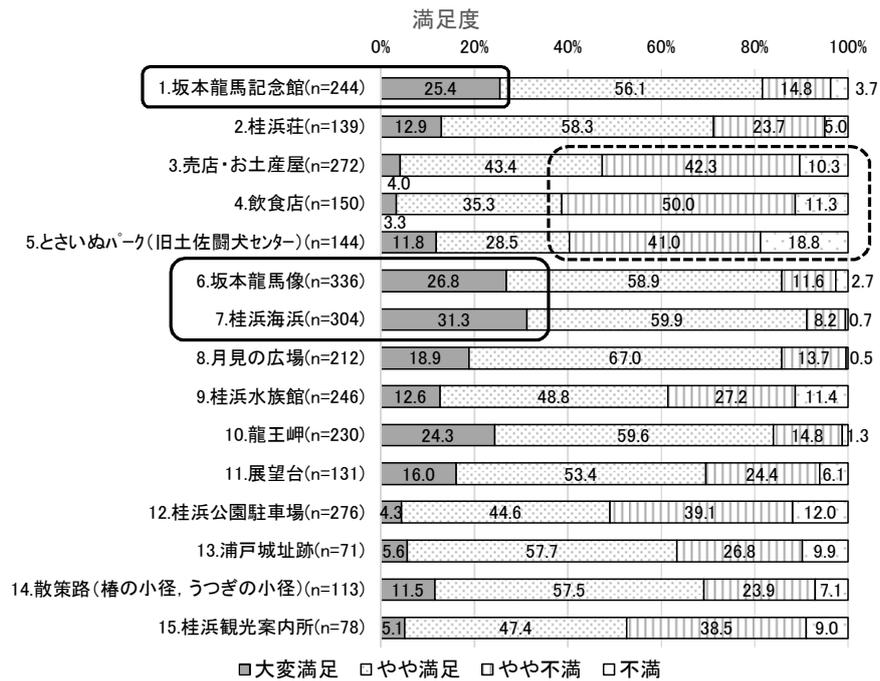


図 2.9 桂浜公園内施設の満足度

2-5 桂浜公園の主な課題

現状の特性や委員会、アンケート等から主要課題を以下のように整理します。

① 桂浜の自然景観の魅力づくりが必要

- 太平洋の波が打ち寄せる龍王岬、海浜、松林等が織りなす桂浜海岸一帯の自然景観が、訪れる多くの人々に感動を与える観光資源となっていることから、その固有の資源である桂浜海浜の自然景観の保全維持を図っていくことが課題です。

【委員会やアンケート等の主な意見】

桂浜の自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在のメインの砂浜、海岸、龍馬像、龍王岬周辺を現風景のまま残す。 ● 昔からの桂浜の自然景観や龍馬のイメージを活かした「自然資源型」、「伝統・情緒型」を大切に景観改善、施設の整備及びイメージ戦略が必要。 ● 公園内の土産品売店・飲食店等、全てを対象に有用不用の検証を行い、ゼロベースから新しい施設選定と配置を検討（既存施設ゼロからの発想） ● 太平洋から桂浜の龍馬像を眺めたり、浦戸湾をのんびり見学したりするのもいい。
東浜と桂浜の自然海浜	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場から桂浜まで近距離なのに防止柵があり遠回りしなければならない。駐車場から海が見えない。 ● 公園全てを統一したデザイン(龍馬ブランド(時代背景など)を中心に構築)。
丘陵地と桂浜の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 龍馬記念館～旧アスレチックゾーンを再整備して明るい雰囲気ウォーキングコースとし、途中には鳥の巣箱や植物案内板を設置して、自然観察ができるようにする。

② 坂本龍馬、浦戸城跡などの歴史資源を活用した魅力づくりが必要

- 龍馬に会える場所として多くの人を魅了していることから、それらを活かして龍馬に出会える観光地としての更なる魅力向上を図ることが課題です。また、長宗我部氏が築いた浦戸城跡があるため、これらの歴史を活かしていくことが課題です。

【委員会やアンケート等の主な意見】

坂本龍馬像	<ul style="list-style-type: none"> ● 龍馬の目線で、あるいは龍馬になったつもりで太平洋をながめ、国の行く末や人生を考えられる場所を創出する。 ● 龍馬記念館の分館構想により、“勉強”と“遊び”が融合した記念館を整備することで入館者、滞在時間が伸びる。
浦戸城跡、長宗我部など歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ● 光と影に生きた土佐の歴史があったこと、華やかな龍馬と儂くも影となっている忠誠心にあふれた長宗我部時代の郷土の歴史話が興味深い。 ● 浦戸城天守閣の復元、展望台機能と土佐戦国の歴史(長宗我部)を学ぶ桂浜公園全体を一望できる超高台展望台。

③ 観光客や市民のニーズにあった施設、魅力の創出が必要

- 食や買物を楽しめる施設としての魅力創出を図り、桂浜での食や買い物の楽しみが目的となるよう、観光客のニーズに対応した施設の魅力づくりが課題です。

【委員会やアンケート等の主な意見】

食や土産品	<ul style="list-style-type: none"> ● 売店はどこも同じで魅力がない。観光客の満足度を高め、滞在時間を延ばすため抜本的見直しが必要。 ● 空き店舗のままで新規売店に入れ替わらない、平日休業や土日営業だけの売店があり、観光客のニーズに対応していくために、競争性をもたせることが必要。 ● ウォーターフロントや桂浜の立地を活かし、太平洋や浦戸湾を眺めながら食事ができるレストランや、エリアの回遊性、滞在時間を高めるために、遊歩道沿いに休憩できる喫茶・コーヒーショップ(できれば知名度・話題性のあるスターバックス)などの誘致。
-------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ● シャッターの下りた店舗や営業されていない露店の状態はマイナスイメージを与えている。 ● タタキや地元御置瀬で獲れた新鮮な魚介を食べることができるように、実演も兼ね備えたレストラン。 ● 当地でしか入手できないような商品、こだわりを持ったものを販売する売店。 ● 観光客の満足度を高めるため、出店者は広く県内から公募。 ● 売り上げ（人気投票）などを基準とし、出店者入れ替え有りのチャレンジショップ形式が望ましい。 ● 現駐車場の海との境界周辺を整備し、カフェやレストラン等を展開。おしゃれなデートスポットとして、四国全体から若者を集める。LED等を使って、ムードあるエリアとする。
くつろげる憩い	<ul style="list-style-type: none"> ● 雄大な海を見ながらゆっくりまったりした時間を過ごせるようなカフェまたは茶屋。 ● 屋根付休憩所や社会見学、遠足などに利用できる食事スペースの確保。
学び、楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供の遊び場や休憩スペースを確保し、子育て世代や高齢者が利用しやすい施設。 ● 水族館については、雄大な太平洋を感じることでできる体験機能をもった施設、展示施設の工夫や充実、日本初、唯一ここだけの魅力が必要。

④ 安全に安心に、快適に桂浜公園で楽しめる施設整備が必要

- 龍馬像から龍王岬に至る海浜を巡る観光散策は園路中心で、落ち着ける休憩の場が少ないことから、海浜の景色をゆっくり眺めながらくつろげる環境の整備や、外国人の方々が快適に桂浜公園を散策できるように案内板等での外国人対応が必要です。

【委員会やアンケート等の主な意見】

動線・回遊性	<ul style="list-style-type: none"> ● 弘化台や高知新港と桂浜を結ぶ遊覧船、浦戸湾クルーズ。 ● 東浜のフェンス撤去など桂浜の回遊性の向上。 ● 桂浜エリアから高台施設エリアまでを連携する移動手段の工夫が必要。 ● 史跡や歴史にまつわる人物・実話などの説明、次の目的地までの距離や所要時間を表示した案内板の設置。
ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ● トイレの整備。（数、バリアフリー化、清潔感） ● 多言語化された案内板の設置。 ● 足の不自由な方や中高年の足が弱い方のためにも階段を少なくし、スロープに替える。 ● 浜から龍馬記念館、浦戸城跡など高台施設エリアまでの遊歩道は急傾斜の所にエスカレーターを設置。
防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的に破損・劣化したものの修繕や補修交換、遊歩道の樹木剪定の徹底を行う。 ● 津波へ対応する避難所や避難タワー機能の設置。

⑤ 地域との連携が必要

- 浦戸地域や周辺地域には多くの歴史資源があることから、地域と連携し、桂浜の滞在時間の延長や魅力向上を図っていくことが課題です。

【委員会やアンケート等の主な意見】

浦戸地域の町の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的な説明を語る地元のシルバー世代にボランティアで案内人として活動してもらうなど観光客と親しくなることができる取り組み。 ● 浦戸地区の空き家を利用した宿泊施設。 ● 駐車場の無料化、駐車場スペースの拡大、イベント会場等としての活用。
地域とのネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ● 浦戸、長浜、種崎などを周遊できる仕掛けや取組も必要。 ● 桂浜が地元からの盛り上がりの頂点にあるようにしなければならない。

3. 基本理念及び整備方針

3-1 基本的考え方

桂浜公園整備においては以下の基本的考え方のもと取り組んでいくこととします。

桂浜の強みである自然景観や歴史資源を最大限に活かし、来訪者や市民の満足度が向上する魅力ある施設やサービス提供のレベルアップにより、誰もが生まれ変わったと実感できる公園づくりを目指します。

基本理念

桂浜の貴重な自然景観と歴史資源を活かし、学びや憩い、楽しみがあふれる公園として再生します



図 3.1 基本的考え方

3-2 整備方針

基本的考え方を踏まえ、整備目標と整備方針を以下のように定めます。

整備目標① 自然景観を重視した景勝地にふさわしい公園づくりをめざす

【整備方針】

- 桂浜の景勝地を取り囲むゾーンは、自然景観を徹底する。
- 東浜と桂浜の自然海浜の連続性・景観を重視する。
- 丘陵地の自然に親しむ環境を演出し、桂浜との一体性・連続性を確保する。

整備目標② 歴史に想いを馳せる公園づくりをめざす

【整備方針】

- 龍馬に出会える、龍馬を感じられる環境を創出する。
- 浦戸城跡、長宗我部氏など歴史資源を巡り親しむ環境を創出する。

整備目標③ 学び、憩い、楽しみと活気があふれる公園づくりをめざす

【整備方針】

- ここにいきたいと思わせるような食や土産物、高知の特産品等を楽しめる魅力を創出する。
- 海浜景観をゆっくり眺めながらくつろげる環境を整備する。
- 誰もが学び、くつろぎ、楽しめる環境を整備する。
- 誘客促進を持続的に行う仕組み、継続性をもったソフト施策に取り組む。

整備目標④ 訪れる人に優しい公園づくりをめざす

【整備方針】

- 歩きやすい、回遊しやすい環境をつくる。
- 園内のユニバーサルデザイン化を進める。
- 防災機能等の向上により安全性を高める。

整備目標⑤ 地域との連携、地域の活性化につながる公園づくりをめざす

【整備方針】

- 浦戸地域や周辺地域と連携し地域の歴史、まちのたたずまいに触れる環境を創出する。
- 桂浜公園とのネットワークを形成する。

3-3 ゾーンエリアについて

整備方針を踏まえ、桂浜公園の再整備に向けた公園全体のゾーンエリアを以下のように設定します。

表 3.1 ゾーンエリアの設定

ゾーンエリア名称	ゾーンエリアの考え方
エントランスエリア	● 桂浜公園の導入部となるため、交通アクセス・駐車機能と観光案内機能の充実を図るとともに、桂浜へ来たとアピールできるよう、太平洋を臨む龍馬と海を印象づけるエリアとする。
自然・海浜景観エリア	● 景勝地桂浜を美しい自然・海浜景観の箱庭のようにゆったり眺める、楽しめるゾーンとするとともに、東浜から桂浜一帯を白砂青松の自然海浜景観に親しむエリアとする。
龍馬をしのぶエリア	● 坂本龍馬像を中心に龍馬の目線で、龍馬になったつもりで太平洋をゆっくりながめることができるエリアとする。
龍馬を学ぶエリア	● 坂本龍馬記念館を中心に坂本龍馬について、子どもも大人も学ぶことができるエリアとする。
自然・歴史散策エリア	● 浦戸城跡、天守閣跡など長宗我部時代の歴史資源に触れるとともに、自然散策を楽しめるエリアとする。
コミュニティ連携エリア	● 浦戸地域や周辺地域とも連携しながら桂浜公園や周辺地域の歴史を学ぶことができるエリアとする。